

隠岐の島町社会福祉協議会の取り組みや地区組織での地域福祉活動を紹介する「自治会区向けお知らせ便」第3号が完成しましたのでお届けします。

役場地域振興課が所有する「自治会区長名簿」を基に送付していますので「了承ください」。



場所は国道485号線沿い旧中条体育館の裏手、中条デイサービス横です。

地域活動をご紹介します！
今回のテーマは「防災・減災」です。



防災に強いまち・ひとづくり

【西郷中町町内会連合会】

西郷中町町内会連合会の概要

西郷中町町内会連合会は、宇屋川と西郷湾に囲まれ、東西800メートル、南北100mあまりの細長い地域です。人口およそ280人、160世帯、高齢化率は約46%に上り、年少人口率は全体の7%で、9つの町内会から成る連合会です。



「声かけて笑顔でつながる」をスローガンに、地域の縁を結び直し、自分たちの住む地域が抱える課題を解決するため、様々な活動を進めています。

取り組みのきっかけ

昭和40年代頃までは最新の文化や情報、商品に触れられる商店街として、烏賊漁を中心とした漁業を中心に賑わいを見せていました。しかし昭和50年代以降、若者の地区外流出、空き家の増加等が進み、段々と人々のつながりは薄れていき

ました。

深刻な高齢化を裏付けるように孤独死の発生が続き、この出来事をきっかけに、高齢者宅の安否確認訪問活動に取り組み「えんつくりの会」を発足させました。複数の訪問員で班を編成し、利用者の居住区域とは異なる区域の訪問員が週に1回、声かけ訪問する活動です。利用者と訪問員が親睦を図る集いなども企画し、まずは住民同士のつながりを作っていました。

取り組みの内容

そんな中、平成23年に東日本大震災が発生し、ついに平成24年、自主防災組織を発足させました。防災活動は主に自主防災組織の班員30数名と、えんつくりの会約80名が協同して行うことになりました。

初めての訓練時には、えんつくりの会の訪問員が高齢者のお宅に呼びかけ、共に避難する姿などが見られ、平時の活動と連携したことで多くの住民が参加し、防災意識をより高める効果となりました。

訓練は、年に2回以上行っており、子どもや女性による消火活動ゲーム、津波対策クイズやまちあるきなど、その内容は様々です。

また、若い世代が手薄となる昼間の被災を想定し、地区内に事務所を構える事業所にも訓練に参加してもらっています。令和2年には初めて夜間での消火訓練も行いました。

感染症の拡大後も、人数を制限するなどして、約10年の間、継続して訓練を続けることが出来ました。



災害時の活動は、住民同士の信頼関係、助け合いがあつてこそ成り立つものであり、その後、日常生活の困りごとを住民同士で解決し合う「暮らし応援会」の発足にもつながりました。

また、ふれあいサロンも始め、定期的に地域の方が顔を合わせる場を作りました。日ごろのつながりを強め、災害時に住民誰一人取り残されることのない取り組みを目指しました。

「暮らし応援会」とは…

高齢者世帯などを対象に、地域住民が有償でサポート活動を行う（利用料1時間600円）。サポート内容は、ちょっとした暮らしの困りごと（家まわりや室内の掃除、家具の移動、雪かき、電球の交換）など。

取り組みの成果

自主防災組織を立ち上げた当初、「班員の顔を知らない」「自分の班が分からない」という声も出ていました。

10年に渡って、つながりを育む活動と共に防災の取り組みを推し進めたことで、笑顔や挨拶が増え、住民同士が自然と声をかけ合つて活動へ参加するようになり、防災活動をより効果的に進めることが出来ました。

また、数年前には隣接の地区で約10棟を焼失した火災が発生しましたが、地区民の迅速な消火活動により地区内への類焼を逃れました。

「災害で命を失わない」ための「災害にも強いまちづくり」を今後も前進させたいと考えています。



西郷中町町内会連合会の取り組みは、総務省消防庁の第26回防災まちづくり大賞において総務大臣賞を受賞し、令和4年防災功労者内閣総理大臣表彰を受けました。

社会福祉協議会からの お知らせ

■地域福祉活動に活用できる 助成金の「案内」

隠岐の島町共同募金委員会では、自治会区等が令和5年4月から実施する地域福祉活動に活用できる助成事業を募集中です。

例えば…

- 子どもの登下校の見守りや独居高齢者宅を訪問する見守り活動をしたい。
- ちょっとした困りごとを解決するための助け合い活動をしたい。
- 自主防災組織を作り避難訓練や勉強会をしたい。



上限5万円の『安心づくり助成』が活用できます。

- 集会所で敬老会を開催したい。
- 敬老バスハイクをしたい。
- 敬老手作り料理を高齢者に届けたい。

75歳以上や障がい手帳所持者が助成対象の『交流づくり助成』が活用できます。

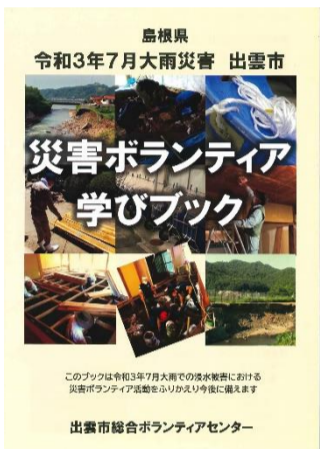
- 定期的に集まって体操や茶話会など色々な活動をしたい。

年8回以上の集合型での計画があれば一律3万円を交付する『ふれあいサロン助成』が活用できます。

「安心づくり助成」は上記の例だけでなく、地域における生活課題や福祉課題の解決のため取り組まれる様々な活動を対象としています。(備品整備のみの事業は助成対象にはなりません。)自治会区内で取り組みたい活動があればぜひご相談ください。それぞれの助成事業で助成要件が異なりますので、まずは、隠岐の島町共同募金委員会(隠岐の島町社会福祉協議会2-06085)までご相談ください。

■「災害ボランティア学びブック」の送付について

近年、自然災害が多発する中、防災や減災の取り組みが改めて重要視されています。この度、出雲市総合ボランティアセンターが発行する「災害ボランティア学びブック」を同封いたしますのでご覧下さい。これは、令和3年7月の豪雨災害で実際に行われたボランティア活動についてまとめたもので、特に家屋の浸水被害への対応方法について詳しくまとめられています。自治会区や自主防災組織での防災・減災の備えの一助として、必要に応じて活用くださいますようお願いいたします。



■シルバー人材センターについて

シルバー人材センターは、臨時的かつ短期的、または軽易な業務を家庭や事業所などから引き受け、ボランティア活動ではなく、仕事として会員の皆さんに提供しています。(請負の仕事の報酬は1時間1,200円です。)家庭からのご依頼内容の多くは、除草作業(家まわりやお墓)、簡単な剪定、屋内清掃などです。



特に春から夏にかけて依頼が集中するため、全ての依頼に対応できないこともあります。

そこでシルバー人材センターでは、夏に向けて草刈りなどの除草作業や簡単な剪定をしてくださいる会員を大募集しています。60歳以上で入会費1,000円/年の納入が可能な方ならどなたでも入会いただけます。

ぜひ一度入会について検討ください。個人の方はもちろん、団体、グループなどへ説明に参りますので、ぜひ隠岐の島町シルバー人材センター(3-1533)までご連絡ください。



高齢世帯からのご依頼が増えています。皆さん安心してサービスを利用していたため、おひとりでも多くの方に会員になっていただきたいです。シルバー人材センター事業へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

■サロンのついでを開催します

ふれあいサロンは気軽に行ける地域の集いの場で、住民の皆さんが中心となって企画、運営をしています。

集いの活動に参加することは健康寿命の延伸につながると思われる、町内では合わせて40箇所以上の高齢者サロンや子育てサロンがあります。

この度、サロンのついでを開催しますので、サロンの実践団体、またサロン活動に興味のある自治会区等の関係者の方はぜひご参加ください。(サロン活動実施団体には個別にご案内しております。)



開催日 3月24日(金)
 時間 10時～11時30分
 (受付9時40分～)
 会場 役場1階 町民ホール
 内容 高齢期の過ごし方講座
 講師 隠岐保健所 地域健康推進課 課長 大場 裕子氏
 保健師 高村 智重子氏
 申込 電話かFAXで申込
 3月14日(火)×切(定員先着60名)

※本件に関するご意見、ご感想等がございましたらお気軽に左記までご連絡ください。

発行・お問い合わせ先

隠岐郡隠岐の島町原田39番地
 隠岐の島町社会福祉協議会
 担当 地域福祉係
 電話 2-0685
 FAX 2-4517
 本会ホームページ
 はこちらから ↓

